



2023年9月26日

株主各位

会社名 株式会社ポプラ
代表者名 代表取締役社長 岡田 礼信
(コード番号 7601 東証スタンダード市場)
問い合わせ先 執行役員社長室長 大竹 修
(TEL 082-837-3510)

2024年2月期 第2四半期(累計) および通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2023年4月13日に公表した2024年2月期第2四半期累計期間および通期の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2024年2月期第2四半期累計期間 連結業績予想値の修正 (2023年3月1日~2023年8月31日)

	営業総収入	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,222	77	186	169	14.42
今回修正予想 (B)	6,395	231	194	306	25.20
増減額 (B-A)	173	154	8	137	
増減率 (%)	2.7	200.0	4.3	81.0	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2023年2月期第2四半期)	6,903	2	10	21	1.83

2. 2024年2月期通期 連結業績予想値の修正 (2023年3月1日~2024年2月29日)

	営業総収入	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,110	217	317	267	22.71
今回修正予想 (B)	12,262	373	322	388	30.47
増減額 (B-A)	152	155	5	121	
増減率 (%)	1.2	71.6	1.4	45.2	
(ご参考) 前期実績 (2023年2月期)	13,064	55	73	△237	△20.17

2. 修正の理由

2024年2月期第2四半期累計期間の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類へ移行するなど、社会活動ならびに人流の回復に伴い既存店ベースの売上は、主に施設内を中心に「ポプラ」「生活彩家」ブランドで展開するSS事業が109.8%、「ローソン・ポプラ」「ローソン」ブランドの運営を行うLP事業が109.9%とともに好調に推移したことでチェーン全店売上高は、177.6億円の予算に対し実績は185.4億円と予算を4.4%上回りました。

一方で直営店舗のフランチャイズ化計画を前倒して進めたことに伴い直営店売上は減少、営業総収入は概ね当初計画並みとなる見通しです。

収益面では、売上が好調に推移した事により粗利益が増加したことから、光熱費や燃料費が想定以上に高騰したことやフランチャイズ化前倒しによる一時的費用の発生があったものの、営業利益、経常利益ともに当初計画を上回りました。

なお、前回発表の予想では、一部の収益を営業外としておりましたが、現在の見通しでは営業内の収益になることが見込まれるため営業利益で大きくプラスとなっております。

これらに加え、2023年5月30日に開示した固定資産の売却益および2023年7月4日に開示した投資有価証券の売却益の計上に伴い2024年2月期第2四半期累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は、306百万円と当初計画を137百万円上回る見込みとなりました。

2024年2月期通期の見通しにつきましては、2024年2月期第2四半期累計期間の見直し修正によるもので、下期の大きな修正は見込んでおりません。

(注) 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上